

第 4 回板橋区交通政策基本計画策定委員会における

意見と事務局回答について

※「太字」は第 4 回策定委員会後に頂戴した意見

1) 計画策定スケジュールについて

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
1.	<p>パブリックコメントは 10～11 月に実施予定となっているが、その前から適宜パブリックコメントを実施して意見を聴取する必要があるのではないか。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>スケジュールの関係上、パブリックコメントは 1 回だけ実施したいと考えております。ただし、パブリックコメント以外でも、意見をいただける機会を検討したいと考えております。</p>
2.	<p>パブリックコメント以外の機会とは、具体的には何か。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>具体的には、パブリックコメント期間中に、区役所 1 階のロビー周辺で、パネル等を利用して本計画を周知したいと思います。概ね 1 週間程度、パネルを展示し、期間中は区の担当者が随時説明を行う、オープンハウス型の説明会を想定しております。</p>
3.	<p>区としてパブリックコメントを実施する時は、通常どのように対応しているのか。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>HP 等でパブリックコメントの実施を周知します。意見の提出方法は、所管課宛に、窓口へ持参・郵便・ファクシミリ・電子メール・区ホームページがあります。</p>
4.	<p>説明会の実施場所等について、区民広報に出して告知等はされるつもりか。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>区民の皆様に告知が届くように、HP など活用することを想定しております。</p>

2) 交通に関する新技術の動向について

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
5.	<p>今回紹介いただいた技術を、どこまで計画に反映していくのか。</p> <p>部分的な自動運転技術やモビリティの充実、一元的なサービスについては、今後導入を検討してもいいと考える。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>今後、各技術の動向がより明確になってきた時に導入を検討することを考えております。</p>

3) 施策体系表（案）に基づく施策展開（案）について

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
6.	<p>資料3の「取組み概要」は何を示しているのか。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>資料4の内容を概括的に把握いただくために、資料4の概要を示しております。</p>
7.	<p>資料3で示されている施策とリーディングプロジェクトとの関係は何か。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>資料3では、交通政策基本計画の基本目標や基本方針に基づき検討した施策を個別に示しております。これらの施策について、相互に連携する施策でプロジェクト化させ、分野を超えて包括的に取組を推進することで相乗効果を発揮できるものと「リーディングプロジェクト」として位置づけております。</p>
8.	<p>資料3のP4でエイトライナー構想の促進を記載しているが、具体的な計画案を教えてもらいたい。実現可能性が何%あるのかについても含めて回答いただきたい。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>エイトライナー構想については、促進協議会において、構想実現にあたっての課題等について、関係区で協議を進めております。また、メトロセブンとエイトライナーをつなぐ環状線の実現に向けた調査・研究も行われています。</p> <p>実現可能性を数値で示すのは現</p>

		段階では非常に難しいのですが、板橋区としてはエイトライナーの導入促進を本計画においても示していきたいと考えております。
9.	<p>・資料3「施策体系表(案)」につきまして</p> <p>理念、目標、基本方針に従い、策定されました施策の方向性、基本的な施策(案)、取組(案)及び記載概要は、いずれも重要で、区民の要望に応えるものであると考えます。ところで、取り組むべきものがたくさんございますが、現時点において、区としてプライオリティのようなものを付けていらっしゃるのでしょうか。プライオリティは、確かに板橋区としての優先事項(優先順位)という意味ではあるのですが、その中には予算等の制約や、実際に実行に移し完成段階に至るまでの予定時間(短期的、中長期的)なども含まれます。資料を拝見しますと、今後、施策を推進するにあたり、すぐに着手できそうなものもございますが、多くは予算の制約等を受け、また住民の協力や関係機関との交渉などが必要になるかと思えます。特に、限りある予算をどう配分するかという面で、取組(案)につきまして何かしらの基準(軸)を設けてプライオリティを付けることが大事になると考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>《小川委員》</p>	<p>現時点では、各取組に対して明確な優先順位は設定しておりません。また、各取組の実施スケジュール等は、本計画策定後に関係機関や庁内等で詳細を検討する予定です。</p> <p>各取組においては、既存の計画の中で、すでに予算化し、実施されているもの、新規の取組でこれから予算化をしていくものがあります。また、本計画で新たな取組として検討していくものもあります。</p> <p>また、横断的プロジェクトについては、重点な取組として位置づけることを想定しているものです。</p>
10.	すでに行われている施策はどれ	「取組み概要」において、「～に

	か。 《岸井委員長》	もとづき」という記載があるものについては、すでに先行して取組を進めている施策でございます。
11.	今回の計画で新たに打ち出した施策を説明してほしい。 《岸井委員長》	<p>下記に示す、主な取組です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路空間の再配分 ・シェアサイクルの普及促進 ・主要生活アクセス道路の整備の検討 ・道路と鉄道との立体交差化 ・公共交通機関の乗換え利便性強化 ・公共交通軸（バス路線）の維持・充実 ・バス停留所環境の改善促進 ・バス運行情報提供の充実 ・子育て分野や福祉分野と連携した移動支援に関する新たな制度構築や既存制度の充実等の検討 ・新たな交通手段の導入検討 ・地域公共交通導入等に関するガイドラインの検討 ・地域と連携した意識調査の実施 ・地域交通に関わる新たな支援のあり方の検討 ・（仮称）地域公共交通会議の設立の検討 ・区、区民、地域活動団体、事業者の意識啓発（心のバリアフリー） ・モビリティマネジメント
12.	東武東上線の全線立体化も新規施策なのか。 《岸井委員長》	<p>東武東上線の全線立体化自体は、区長が以前から公約で掲げております。</p> <p>ただし、区が主体となって具体的な区間における整備方針を位置づけることは、今回初めてでございます。</p>

13.	<p>「新技術の継続的な動向把握・研究」は新規施策とのことだが、当たり前のことなので新規ではないのではないか。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>ご指摘のとおりと考えております。</p>
14.	<p>都営地下鉄三田線の延伸は盛り込むことはできないのか。『人』が中心の交通都市」という基本理念はわかるが、産業界が元気にならなければ板橋区は元気にならない。一度断念しているので難しいとは思いますが、民意を高めてもらうという意味で入れてほしい。新規ではなく延伸なので、まだ楽なはずなので検討いただきたい。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>都営地下鉄三田線の延伸については、運輸政策審議会答申第7号において計画が削除され、残念ながらそれ以降位置づけがございません。そのため、事務局としては本計画で位置づけることは考えておりません。ただし、高島平地域の住民の皆様から要望があることは高島平地域グランドデザインなどにおけるアンケート結果から把握しております。この場で即答は難しいですが、ご意見については承知しているということとどめてさせていただきます。</p> <p>代わりではございませんが、輸送力の増強ということで、車両の8両編成化や都心方向への増便について、東京都へは働きかけをしております。</p>
15.	<p>エイトライナーが開通した場合、板橋区民はどれくらい利用するのか。西台、高島平の人口分布も踏まえ、利用価値を見た上でご検討いただいたほうがいいのかと思われる。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>いただいたご意見については、エイトライナー促進協議会で今後留意して検討いたします。</p>
16.	<p>町内連合会として、都営地下鉄三田線の延伸と同時に、大江戸線を成増駅、西高島平まで延伸することを要望しているが、この要望を実現す</p>	<p>ご意見ありがとうございます。鉄道の延伸や新規路線については、国の交通政策審議会での答申が必要であり、大江戸線について</p>

	<p>るのは難しいが、今後の人口動態などを踏まえて公共交通のあり方について研究していきたいとお返事を頂いている。研究にあたっては、エイトライナー構想とメトロセブン構想の連携についても考えていただきたい。</p> <p>《竹内委員》</p>	<p>は、大泉学園方面への延伸が決まっており、西高島平駅等への延伸は現状のところはありません。</p> <p>メトロセブン構想につきましては、事例紹介欄を使って紹介できるようにしたいと考えております。</p>
17.	<p>東武東上線の全線立体化は本当に本計画で表現するのか。鉄道と道路の立体交差化という意味であれば、できないこともないと思われるが、表現の方法も含め、ご検討いただきたい。</p> <p>都施工もあれば区施工もあるので、必ずしも都との調整は必要ないと思うが、事業者とは調整いただきたい。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>関係者間で調整して記載内容を更新していきます。</p>
18.	<p>街角にある掲示板は、これまで大雨により剥がれる等していたが、ガラスケースにしたことにより改善し、また、掲示物が見やすくもなった。このような身近な変化は区民にとって意外と効果が大きいと思われる。</p> <p>本当に多くの施策があり、どれも大事だが、身近な視点では、様々なタイプの自転車を駐車できるスペースの確保など、実現しやすいことや、子育て世代に対してアピールすること、高齢者がバス停で待ちやす</p>	<p>本計画で、実施計画につながる記載をすることで、より具体的なイメージを持っていただくようにしたいと考えております。また、コラムや将来イメージの絵を作成して、区民の皆様にとって施策の効果がわかりやすい計画にしていきたいと思います。</p>

	<p>くなることなど、少しずつできることも示していただくことで、大きな事業も行うことに対しても理解が得られるのではないかと。また、区民の意見が本計画に反映されていれば、区民ももっと施策等に関わってみようという気になるから良いのではないかと。</p> <p>《黒瀬委員》</p>	
19.	<p>最近、自転車が止まるものだと思っ、歩行者は止まらない等、歩行者のマナーが悪いと思われる。モラル教育も必要ではないかと。</p> <p>《萱場委員》</p>	<p>歩行者のマナーも必要かと認識しておりますが、悪質な運転が近年において特に目立つとされている自転車利用に関する、乗車中のマナー・啓発や交通事故防止に取り組んでいく旨を板橋区交通安全計画 2020 に基づき、記載したいと考えております。</p> <p>よって、④-1「適切な自転車利用の誘導」の中で、板橋区交通安全計画 2020 に基づき、自転車乗車中のルール・マナーの啓発を図る旨を記載するとともに、④-3「道路交通の安全性向上」の中で、安全で快適な交通の確保に向けて取り組むことを記載したいと思ます。</p>
20.	<p>昨今、悲惨な交通事故のニュースが飛び込んでくる。地域の中で振り返ってみると、国道 17 号に中央分離帯がない場所、環状 8 号線でも、すぐ脇を車が走っているのにガードレールもない場所や、人が多数横断するような交差点でもガードレールがなく、車が突っ込んできたら</p>	<p>①-1「歩行者の安全性強化」、④-3「道路交通の安全性向上」で交通安全対策について記載いたします。</p>

	<p>大人数の被害が発生するおそれ場所がある。人が安心して住むことができるまちという視点で考えると、本計画に記載が盛り込まれていないように思うが、行政としての考えはどうか。</p> <p>《佐藤委員》</p>	
21.	<p>最低限の交通安全施策の整備をどこかに入れることを検討していただきたい。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>①-1「歩行者の安全性強化」、④-3「道路交通の安全性向上」で交通安全対策について記載いたします。</p>
22.	<p>幹線道路については乗りやすい、止まりやすい場所を考えていただきたい。</p> <p>《萱場委員》</p>	<p>バスベイの整備を促進することを考えております。</p>
23.	<p>資料4のゾーン30の説明写真について、小茂根地区によい事例があるので、掲載するとよいのではないかと。</p> <p>《竹内委員》</p>	<p>情報提供ありがとうございます。掲載を検討いたします。</p>
24.	<p>他にも、区内によい事例があれば掲載した方がよい。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>事例紹介では、可能な限り区の事例を取り上げるように致します。</p>

4) リーディングプロジェクト（案）（横断的な重点プロジェクト）について

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
25.	<p>多少記載は見られるが、本計画上で、商店街をどのようにしていきたいかが気になる。道路封鎖して車両の進入を抑制しても人が来なくなるおそれがある一方で、自動車交通量が多くなっても同様に人が来なくなると考えられる。どのように整備していくかが重要である。</p> <p>また、荷捌きのルール（いつ荷捌き車両を通行させるかなど）を考えて、人が住みよい町をつくる必要があると考える。</p> <p>《萱場委員》</p>	<p>⑨-1 において、商店街含む駅周辺は、歩行者空間を充実させることで歩行者の回遊性向上につなげたいと考えております。また、回遊性が高まることで、商店街等の歩行者通行量が増加し、売り上げにも貢献できる旨の内容を記載しております。さらに、駅周辺へのアクセス性向上を図り、商店街等への来訪者数を維持・増加させるため、バス交通の機能向上等の公共交通の利便性向上を図る予定です。</p> <p>荷捌きについても、荷捌きスペースの確保を地元商店街と連携して検討するなど対応する予定です。</p>
26.	<p>記載された取組みは、何から重点的に実施するのかということではなく、どれも実施が必要な事項である。《萱場委員》</p>	<p>ご指摘のとおりと考えており、取組み毎に順次実施していく予定です。</p>
27.	<p>5 年先もわからない現代においては、もっと機動性のある計画作りが必要と考える。短時間で多めに意見をもらって処理することが重要ではないか。</p> <p>《萱場委員》</p>	<p>ご指摘のとおりと考えております。そのため、本計画策定までにも、本策定委員会やパブリックコメントに加えて、オープンハウス型の説明会を実施するなどを行い、多くの区民から意見をいただく予定です。</p>
28.	<p>リーディングプロジェクト 1 に駐輪などの話がないが、当然かかわってくるという理解でよいか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、リーディングプロジェクト 1（横断的な重点プロジェクト）に放置自転車対策に関する</p>

	《岸井委員長》	取組も加えました。
29.	<p>リーディングプロジェクトは、重点的に行う取組みであると位置づけ、実働される方に理解してもらうことが重要と考える。20年後を見据えた計画ではあるが、すぐに実施できて成果が見えるリーディングプロジェクトがあれば、区民にとっても良いのではないか。詳細な取組み等はアクションプランで検討するのかもしれないが、それがないと、区民の方々に交通の重要性を理解いただけないと思われる。</p> <p>《岡村副委員長》</p>	<p>ご意見の通り、リーディングプロジェクト(横断的な重点プロジェクト)は特に重点的取組を進めていきたいと考えております。ただし、どこまで具体的にお示しできるかは、今後検討いたします。</p>
30.	<p>網羅的になると、何をしたいのかわかりづらくなるので、どういう風にわかりやすく伝えるのかを検討してもらいたい。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>ご指摘を踏まえ、リーディングプロジェクト(横断的な重点プロジェクト)に関する資料の構成・内容を検討いたします。</p>

4) その他

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
31.	<p>本日の内容をさらに深堀していくのか。</p> <p>より具体的な話にならないと意見が出づらいと思われる。ご意見をいただくために、せめて事例があるとよい。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>リーディングプロジェクト(横断的な重点プロジェクト)については、実施場所等について、どこまで記載するか等も含めて検討し、次回の策定委員会まで具体的な部分を固めていきたいと考えております。</p> <p>事例などは、事例欄やコラム欄で示す予定です。</p>
32.	<p>12月の策定委員会の日程について、12/25はすでに予定がある。また、他の委員の方も年末は忙しいと思われる。12月早い時期か、年明けにずらすことを検討いただけないか。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>計画(案)の検討に時間を要したため、12月25日の策定委員会を令和2年3月16日へと変更させていただきました。</p>